

平成23～32年度

次期総合計画策定 ニュースレター

～このまち、だいすき～

新 ざま 仕様

～快適創造宣言～

平成21年7月 Vol.2

 **座間市** [政策課]

電話番号：046-252-8287

ファクス：046-255-3550

【目次】

次期総合計画とコミュニティ

座間市の人口の推移

子ども議会を開催します！

12年後の座間について意見を募集
します！

お知らせ

特集

次期総合計画策定とコミュニティ



座間市長 遠藤三紀夫

昨年の4月を振り返って、誰がこの激変する経済状況を予測することができたでしょうか？計画策定には柔軟な対応を想定する必要があります。しかし、少子高齢化は動かしがたい方向性があり、そこはしっかりと見極めなくてはならない大きな課題です。

少子高齢化の中で、これまでと違ったコミュニティのあり方が問われてきます。本市においても多様な人間関係が存在しますが、それらを重ね合わせていくことによって、地域における人と人とのつながりを編んでいくというようにする必要があります。

地域のコミュニティは、相互扶助の観点から重要な課題であり、様々な角度から検討していかななくてはなりません。少子化が進行するとい

う中で子どもを取り巻く環境については、核家族化の進行、他との関わりがなくても過ごしてしまうという状況があり、社会性の涵養が大きな課題です。

市内におけるソフト的な要素、人間関係でいえばコミュニティについては過去とは違った位置付けで重要度が増してきます。そういった点を柔軟に考え、拾い出していく、あらゆる立場の市民の考えを集めていき、市民本位の総合計画を考えていく必要があります。非常に厳しい経済環境、限定された条件の中で、総合計画を策定していくわけで、真剣に真正面から取り組んでいかなければならず、そういった共通認識について市をあげて共有して取り組んでいきたいと考えています。

座間市の人口

人口の推計は、総合計画などの長期的な計画を策定する上で、基礎資料となり、重要性が高いものです。その一方で、これは、決して予言や予知ではなく、現時点における傾向を将来に向けて適用し、将来の姿を推測したものに過ぎません。

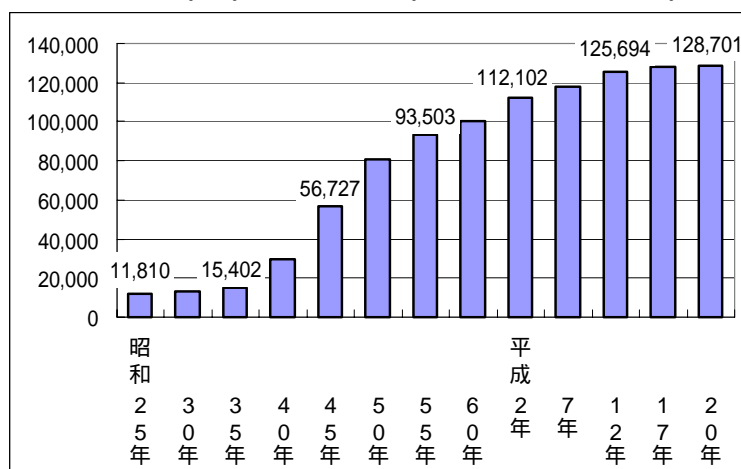
これらの前提の上で、これまでの座間市の人口の推移及び国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による人口推計などを紹介します。

1 これまでの人口の推移

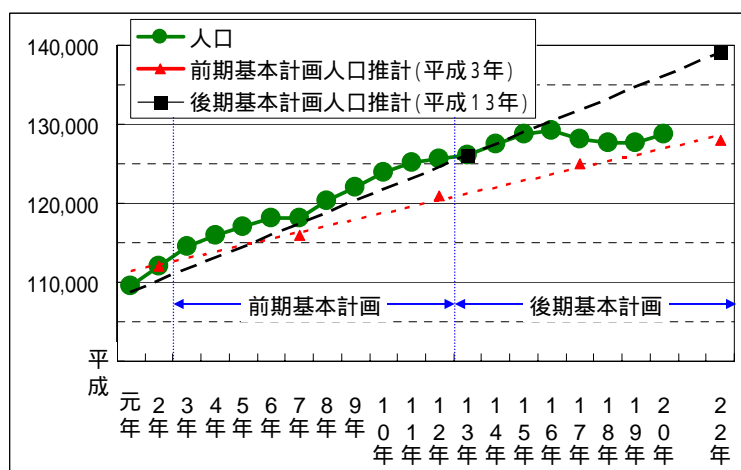
本市は、東京、横浜から通勤圏内にあることから、右図のとおり、昭和40年頃から、高度成長期における工場進出や首都圏への人口集中に伴って、急速に人口が増加しました。この急速な人口増加は、平成2年頃には落ち着きましたが、その後も平成16年頃まで増加傾向で推移しています。

平成元年以降の座間市の人口と第三次座間市総合計画における人口推計は、右図のとおりです。前期計画期間（平成3～12年）においては、予想を上回る人口増加であった一方、後期計画期間（平成13～22年）においては、予想に反して横ばい、減少へ転換しています。

座間市(町)の人口の推移(各年10月1日現在)



座間市の人口と第三次総合計画での人口推計

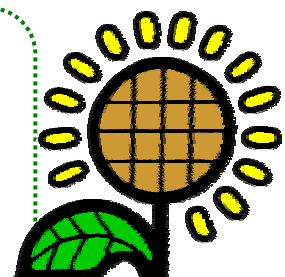


座間市の人口などの最新データ(平成21年7月1日現在)

総数 128,680人(前月比+3人、前年同月比+7,58人)

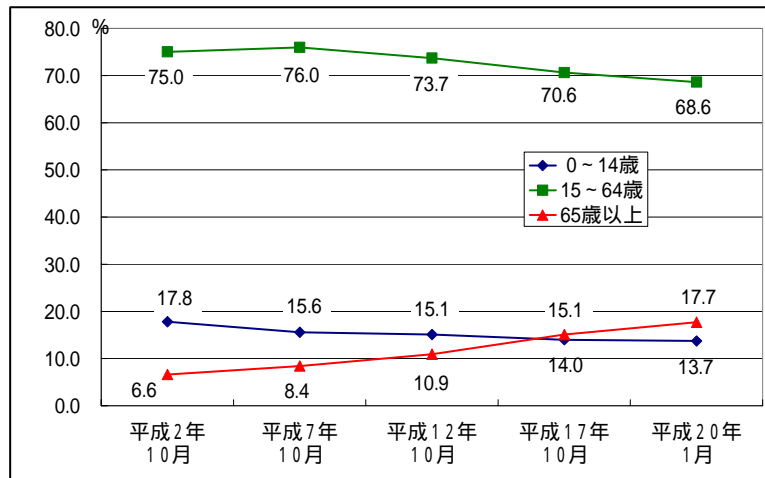
人口密度 7,320人/km²(136.6m²/人)

世帯数 53,479世帯 **1世帯当たり平均世帯人数** 2.41人



年齢（3区分）別人口の推移では、高齢化率（65歳以上の老年者人口が総人口に占める割合）が急速に高まっています。平成2年の6.6%から平成20年には17.7%と10ポイント以上高まり、県内19市中、17番目であったのが、13番目となりました。

年齢（3区分）別人口割合の推移



2 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による座間市の人口推計

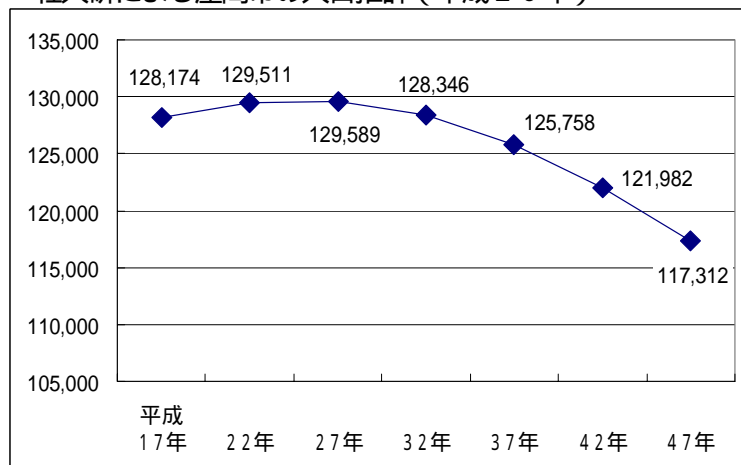
社人研は、厚生労働省に設置された国立の政策研究機関であり、将来人口の的確な見通しをたてることなどを担当しています。

この社人研による座間市の人口推計は右図のとおりです。

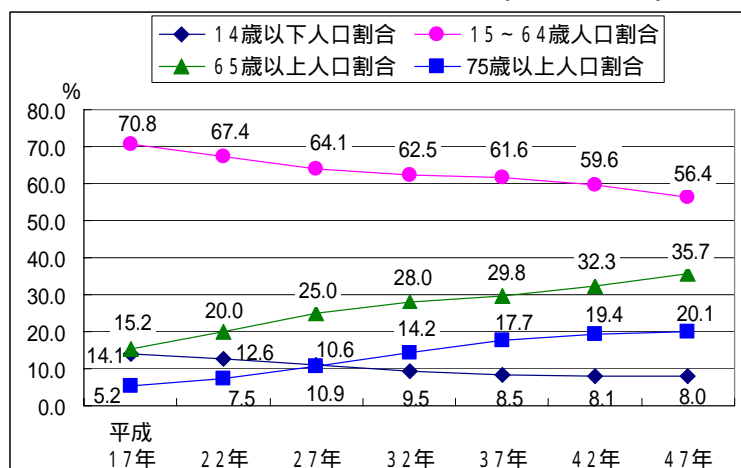
これらによると、座間市は平成27年以降に減少に転じる一方で、少子高齢化は着実に進展し、平成17年には15.2%だった65歳以上人口割合は、平成32年には28.0%、平成42年には32.3%になると推計されています。また、14歳以下人口割合は、平成17年14.1%から平成32年9.5%、平成42年8.1%と推計されています。

これらの推計や次期総合計画での政策等を参考にした上で、今後、次期総合計画での人口推計を策定します。

社人研による座間市の人口推計（平成20年）



社人研による座間市の年齢別人口推計（平成20年）



ざま子ども議会を開催します！

次期総合計画を策定するに当たって、ふるさと座間を担う次世代の意見を反映するため、将来のまちづくりなどをテーマにざま子ども議会（市内小中学生による市議会の擬似体験）を開催します。

子ども議会は、平成13年に市制30周年を記念して実施して以来、2回目の開催となります。

今後のニュースレターで、当日の様相などについて、お知らせする予定です。

開催予定日：8月20日（木）

場所：座間市議場

ざま子ども議会21宣言（平成13年）

ざま子ども議会21宣言

- 1 おいしい水と今ある美しい緑や川を守り、緑化につとめます。
- 2 リサイクルを積極的に行い、資源をむだ使いないで、ごみを減らす努力をします。
- 3 だれもが安心して、楽しく学べる学校をつくる努力をします。
- 4 思いやりの心をもって、お年寄りや体の不自由な人の手助けをすすんでします。
- 5 姉妹都市スマーナ市をはじめいろいろな国と交流を深め、文化を知り、学び、相手の国や人々を理解し、仲よくしていきます。

一言メッセージを募集します！

「あなたが思いえがく12年後の座間」をテーマに、市民の皆さまから一言メッセージを募集します。

8月または9月の水道の検針の際に、使用量のお知らせと一緒に、はがきを配布します。このはがきで、メッセージをお寄せください（切手は不要です）。

ぜひ皆様の思いをメッセージに託し、ご応募いただきますようよろしくお願いいたします。

水道の検針は、市内を東西2地区に分割し、2カ月に1回実施しています。お住まいの地域によっては、はがきの配布が遅れますので、ご了解ください。

なお、はがきがお手元に届かない方や複数枚必要な方は、郵送いたしますので、政策課政策係までご連絡ください。

連絡先：座間市政策課政策係

電話：046-252-8287 ファクス：046-255-3550

本ニュースレターについて

このニュースレターは、総合計画の策定について、市民の皆さんに広く広報して関心を持っていただき、市民の皆さんと市が協働した次期総合計画の策定を実現するために発行するものです。

2カ月に1回程度の発行を予定しており、総合計画策定状況の進ちょく報告のほか、市民意識調査結果の説明、人口推計など、総合計画策定に関連する情報などを提供します。

なお、このニュースレターは、市ホームページへの掲載や市民情報コーナーへの配架、自治会回覧により皆さんにお知らせします。